



学校だより

令和2年度 11月号

和歌山大学教育学部付属特別支援学校

秋が深まり、木の葉が舞う季節になりました。いよいよ冬の気配が近づいてきています。今年の冬は、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症のダブルの感染対策が必要となります。密閉空間を避けるための暑い日の換気はなかなか過酷でしたが、これからの寒い冬の換気も、防寒対策が同時に必要となります。飛沫感染や接触感染を避けるため人と人との距離を取るなど、今まで行ってきたことは両方に対して有効ですので引き続き行うとともに、十分な睡眠や栄養を考えた食事などを含め、一人一人が確実にできることを行いながら、日常を過ごすようにしましょう。

さて、中学部3年生は、このお便りが出るところには修学旅行から帰ってきていることでしょうか。行けるかどうかを心配した時期もありましたが、東京方面には行かずに広島・愛媛方面に、時期も5月より10月末に変更して行ってきました。行程は、乗船しての安芸の宮島、サイクリングでのしまなみ海道、松山城へのロープウェイからの絶景など、青い海や季節が織りなす豊かな自然の美しさを満喫し、いつもの都会への旅行とは違った趣のある旅行を経験しました。乗り物に乗ることが大好きな生徒たちは、行く前から様々な乗り物に乗ることをとても楽しみにし、消毒など感染対策を常に行いながらではありましたが、充実した三日間を過ごしてきました。今年ならではののお土産話をぜひ聞いてみてください。

もう一つ、中学部ではこの時期、三年生が初めての現場実習に行きます。中学部段階では、三日間、紀伊風土記の丘や和歌山大学で落ち葉掃きをさせてもらいます。11月は、掃いても掃いても葉が落ちてきて、仕事が尽きない状況です。そんな中、例年の三年生は、愚痴一つこぼさずに黙々と仕事をします。1・2年生の後輩たちはこの時期の木曜日の「生活」で先輩の働いている姿を見に行き、来年は（再来年は）自分たちだという気持ちを持って、あらためて次回からの作業学習に臨みます。普段、作業学習は火曜日と金曜日の午後に、紙工班と農園芸班の二つの班に分かれて行っています。主体的に作業に取り組めるよう、また、挨拶や礼儀、準備や手順、また意欲や持続する力など、仕事に必要な基礎、基本を身につけられるように学習しています。現場実習は学校で培った力を現場で発揮する絶好の機会です。今年も真剣な眼差しで働く姿を、後輩たちに見せてくれることと思います。

中学部 辻本佐和美

◆保護者の皆様へのお知らせ

- ・ 2日（月）に小中学部の授業参観を予定しております。
- ・ 高等部の授業参観は現場実習先での参観となります。日時は担任よりお知らせします。



11月の行事予定

2（月）授業参観（小・中学部） 後期現場実習（高等部）（～13日）	17（火）現場体験実習（中学部3年生）（～19日）
4（水）教育実習（小学部）（～17日）	20（金）高等部内部進学者校長面接
9（月）入学願書受付（～11日）	26（木）入学選考のため休業
12（木）修学旅行（小学部高学年）（～13日）	27（金）入学選考のため13:30下校
	30（月）現場実習報告会（中高等部）

◆11月の保健行事

体重測定・・・2日（月）小中学部 10月29日（木）、30日（金）高等部

◆11月の育友会

19日（木）進路部会

